

平成 28 年度 P D C A サイクルづくり支援事業 P 調査全県集計結果及び分析報告

教学指導課

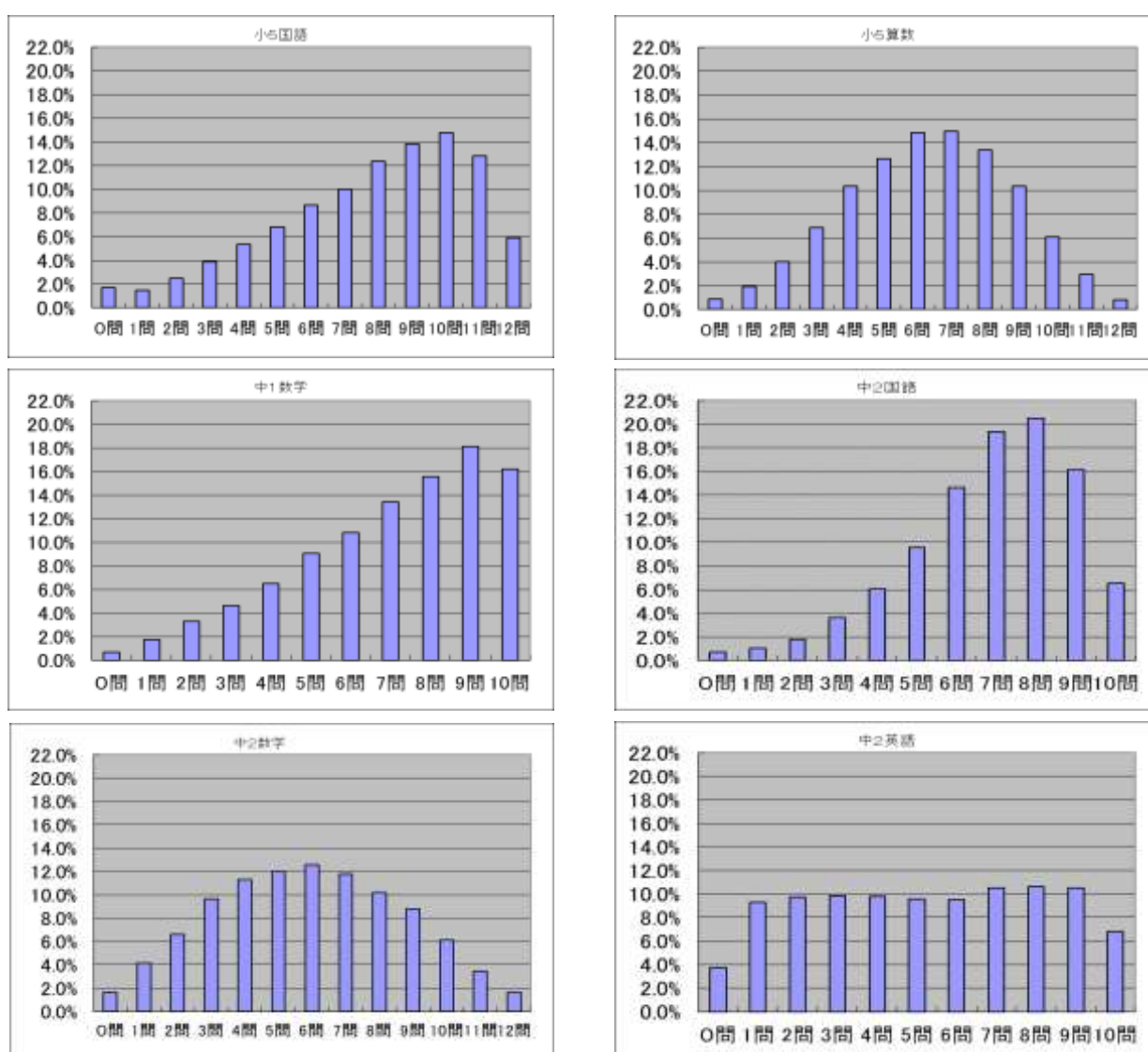
1 調査教科及び調査した児童生徒数

上段：参加人数 下段：参加校数

	国語	算数・数学	英語
小学校 5 年	14,371 人 (78.1%) 303 校 (83.5%)	14,529 人 (79.0%) 305 校 (84.0%)	
中学校 1 年		13,866 人 (74.1%) 151 校 (82.1%)	
中学校 2 年	14,602 人 (75.7%) 156 校 (84.8%)	14,725 人 (76.3%) 156 校 (84.8%)	14,516 人 (75.3%) 156 校 (84.8%)

(参考：全県 小5 18,393 人，中1 18,701 人，中2 19,289 人，小学校 362 校，中学校 183 校，義務教育学校 1 校)

2 正答数の分布グラフ (単位%)



小学校国語は、右寄りのグラフとなり、正答数の多い児童の割合が高くなった。しかし、正答率が50%以下となった設問が2問あり、ともに活用に関する問題であったことから、声に出して読むときの工夫や表現の工夫を授業に取り入れていきたい。中学校2年の数学では、【1】、【2】の正答率がともに10%台であったことから、文字を用いて式に表す学習を丁寧に行いたい。中学校2年の英語では、H27年P調査と似た形のグラフとなっており、正答数の少ない生徒の割合が高くなっている。

3 正答数の分布 (単位 上段：人，下段：%)

	0問	1問	2問	3問	4問	5問	6問	7問	8問	9問	10問	11問	12問
小5 国語	246	213	357	556	768	979	1244	1439	1775	1982	2121	1840	851
	1.7	1.5	2.5	3.9	5.3	6.8	8.7	10.0	12.4	13.8	14.8	12.8	5.9
小5 算数	129	279	586	996	1502	1834	2159	2173	1941	1502	882	428	118
	0.9	1.9	4.0	6.9	10.3	12.6	14.9	15.0	13.4	10.3	6.1	2.9	0.8
中1 数学	94	242	456	638	902	1254	1498	1865	2158	2514	2245		
	0.7	1.7	3.3	4.6	6.5	9.0	10.8	13.5	15.6	18.1	16.2		
中2 国語	105	152	262	531	883	1396	2138	2829	2997	2355	958		
	0.7	1.0	1.8	3.6	6.0	9.6	14.6	19.4	20.5	16.1	6.6		
中2 数学	241	615	976	1425	1666	1765	1853	1735	1501	1299	902	509	240
	1.6	4.2	6.6	9.7	11.3	12.0	12.6	11.8	10.2	8.8	6.1	3.5	1.6
中2 英語	545	1345	1415	1433	1423	1392	1381	1524	1547	1524	987		
	3.8	9.3	9.7	9.9	9.8	9.6	9.5	10.5	10.7	10.5	6.8		

4 各問の正答率 (単位%) ○知識に関する問題 ◇活用に関する問題

小5 国語	1一 ア○	1一 イ○	1一 ウ○	1二 ◇	2一 ○	2二 ○	2二 ○	2三 ◇	2四 ◇	伊藤 ○	田中 ○	藤村 ○
	85.0	85.2	73.2	46.4	52.3	84.5	63.0	34.3	51.7	68.9	66.6	66.8
小5 算数	【1】 (1)○	【1】 (2)○	【1】 (3)○	【1】 (4)○	【2】 ○	【3】 (1)○	【3】 (2)○	【4】 ○	【5】 (1)○	【5】 (2)○	【6】 ◇	【7】 ◇
	66.7	82.9	63.5	85.6	71.2	10.8	48.3	22.0	53.5	59.2	21.2	46.5
中1 数学	【1】 (1)○	【1】 (2)○	【2】 ○	【3】 ○	【4】 ○	【5】 ◇	【6】 ○	【7】 ◇	【8】 ◇	【9】 ◇		
	80.9	79.0	61.9	57.3	57.9	63.4	83.9	87.0	74.6	56.1		
中2 国語	1一 ○	1二 ◇	1三 ア◇	2一 ア○	2一 イ○	2二 ア◇	2二 イ◇	3一 ○	3二 ○	3三 ◇		
	86.7	48.1	50.1	95.9	67.3	64.4	76.8	59.8	84.5	52.2		
中2 数学	【1】 ○	【2】 ○	【3】 ○	【4】 ◇	【5】 ○	【6】 ○	【7】 ○	【8】 ○	【9】 (1)◇	【9】 (2)◇	【10】 (1)○	【10】 (2)◇
	19.9	17.5	54.0	68.5	61.2	64.5	37.0	70.2	70.3	50.1	36.1	40.0
中2 英語	【1】 ○	【2】 ○	【3】 ○	【4】 ○	【5】 ◇	【6】 ○	【7】 ○	【8】 ○	【9】 ○	【10】 ◇		
	59.2	91.1	56.5	68.2	30.8	55.9	48.7	39.7	35.6	38.1		

5 知識に関する問題と活用に関する問題の正答率（単位％）

	小5国語	中2国語	小5算数	中1数学	中2数学	中2英語
知識に関する問題	71.7	78.9	56.4	70.1	45.0	56.9
活用に関する問題	44.1	58.3	33.8	70.3	57.3	34.5

小学校では、知識に関する問題と活用に関する問題の正答率に大きな開きがある。授業において、身に付けた知識を用いて問題を解決していくような場面や学習問題を意図的に取り入れていく必要がある。後ほど示す各教科・学年の課題と指導改善の方向を参考にして、授業改善を進めていきたい。

知識に関する問題では、一部で定着が不十分なものが見られる。P調査問題は、昨年までの学習内容なので、補充・補完指導を速やかに行い、確実に知識が身に付くようにしたい。確かな理解を深める授業を行っていくとともに、クリア問題、レビュー問題等（総合教育センターホームページ「学びの広場」参照）を活用して、さらに確実に学習内容を定着させることが必要である。

6 P調査結果から見えた課題と授業改善のポイント

P調査結果で見えた課題

- ・ 文章の内容を正確に捉え、目的や意図に応じて、適切に答えること。
- ・ 与えられた情報から必要な情報を選択、整理し、筋道を立てて考えること。

授業改善のポイント

- 1 文章を丁寧に読み取り、どのような内容が書かれているのかを明確にする活動を取り入れましょう。そして、何を問われているのかを判断し、適切に答えるための過程を大事にしていきましょう。
 - ・ どのような内容が書かれている文章なのかを、図を用いて説明させたり、グループ活動の中で互いに説明し合ったりすることで、理解が深まります。
- 2 与えられた情報の中から、課題を解決するために必要な情報や、その情報が何を意味しているのかを整理する活動を取り入れましょう。
 - ・ 課題を解決するために与えられた情報を丁寧に整理していくことで、その情報をどのように使えばよいのか、また、その情報を利用して考えを深めていくことにつながります。
- 3 これらのことを、小・中学校ともに、全教科で取り組むことが大切です。
 - ・ P調査で実施した教科に限らず、各教科及び学級の授業改善がさらに進むよう取組を見直しましょう。